

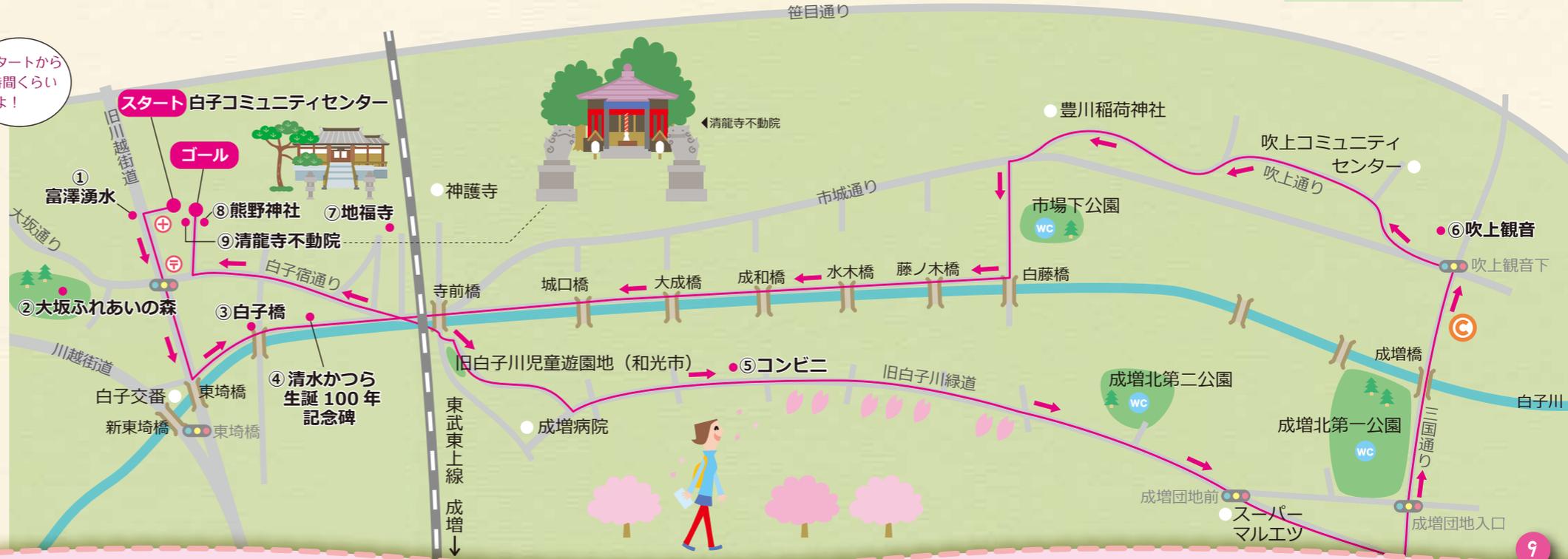
歴史にふれる 白子川下流コース



白子川下流域は、コンクリートで整備されており、以前に比べ水質が改善され、大きな鯉の群れやカモが泳いでいるのを見ることができます。

スタート地点の白子コミュニティセンター（以下、白子コミセン）へは、市内循環バス（中央コース）利用が便利です。スタート及びゴール地点となる白子コミセン内には、和光市とゆかりのある童謡詩人清水かつらと児童文学作家大石真の展示室が常設されています。スタートからゴールまで約1時間ほどです。

WC トイレ
C コンビニ



歴史にふれる白子川下流コース

旧白子宿周辺

白子コミセンから旧川越街道へ出たところの駐車場脇に、白子湧水群で最大水量を誇る①富澤湧水があります。

白子宿通りと旧川越街道との交差点から、大坂通りの坂道を数分歩いたところにある②大坂ふれあいの森には、湧水や貴重な植物が群生しています。

白子川に架かる都県境の東埼橋から白子川下流に向かって寺前橋までは、兩岸とも遊歩道となっており、途中に架かっている③白子橋は、江戸時代の川越街道白子宿への入り口となっていました。今は清水かつらの「靴が鳴る」の歌詞が彫られた新しい橋が架かっています。

白子橋と寺前橋の途中に、④清水かつら生誕百年記念碑が建っています。

大坂ふれあいの森



旧白子川緑道(板橋区)

白子川は、和光市と板橋区の都県境を流れており、旧川筋は東武東上線下にある寺前橋から板橋区側に曲がっていました。その後白子川の直線化に伴って今の川筋となっています。寺前橋を渡ったところに旧白子川児童遊園地(和光市)があり、その脇道に入っていくと人工のせせらぎとして整備された緑豊かな旧白子川緑道が続いています。春先は桜並木がきれいです。



旧白子川緑道



東明寺(吹上観音)



東明禅寺(吹上観音)

東明寺(臨済宗)は「吹上観音」として近在に知られる古刹で1380年の創立と伝えられています(吹上観音とされたのは1628年)。境内に二列に並ぶ親庚申塔と134基の子庚申塔は全国的にも珍しいそうです。和光市の指定文化財となっています。座禅会なども行われています。

地福寺

平安末期の永延年間(987~988年)に開基したと伝えられる天台宗の寺院です。筆塚や鐘楼堂があり、樹齢約150年のイチヨウの紅葉がきれいです。

地福寺



熊野神社

平安時代に創建された神社で、明治5年に氷川神社と合祀して村社となったとのこと。境内には江戸末期の富士講に由来する白子富士があり、イチヨウやツツジもきれいです。

熊野神社



清龍寺不動院

平安時代初期の天長7(1173)年に開山された古刹(真言宗)。境内にある不動の滝で日露戦争の将軍乃木希典が修行したとのこと。暗い洞窟に入る「開運洞窟めぐり」ができます。

清龍寺不動院

